

発達障がいや知的障がいなど

障がいがあることを周りの人たちに

知ってもらうためのマークです。



「見守ってくれてありがとう」

「理解してくれてありがとう」

このマークを見かけたら

優しく見守ってください。

マークを作る目的

外見ではわからない「生きづらさ」「関わりにくさ」があることを周りの人に知ってほしい

私たちと同じ悩みを持って日々過ごしている親たちのサポートがしたい

国内にいくつかある発達障がい、知的障がいを表すマークを統一してほしい。

見守ってくれてありがとう。
理解してくれてありがとう
思いやりをありがとう。
その優しさに感謝します。

このバッチは幸せの青い鳥が、
四つ葉のクローバーをくわえています。

四つ葉のクローバーには意味があります。
三つ葉のクローバーの変異体
(障がいとはそのようなもの。)

たくさんの三つ葉の中に、四つ葉も混ざっている。
たくさんの人の中に障がい者も混ざっている。)

バッチを見かけたら、優しく見守って欲しい。
言葉で説明できないような時は、このマークを見て
理解して欲しい。

その優しさに
ご本人、ご家族、支援者、皆さまの心にたくさんの
四つ葉のクローバー（幸せ）を
この青い鳥が運んでくれますように

マークの紹介

このデザインは、絵を描くこと泳ぐことが大好きな春日台特別支援学校 高等部 1 年秋本 慎ノ介さんが描きました。

平成 29 年 6 月 25 日、毎日新聞掲載、yahoo ニュース
平成 29 年 9 月 2 日、9 月 10 日、9 月 28 日中日新聞掲載
平成 29 年 8 月 31 日、中京テレビタ方の情報番組「キャッチ」放送

